



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒラノテクニード

コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岡田薫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 安居宗則

TEL 0745-57-0681

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,501	5.3	1,441	125.1	1,487	110.4	1,184	158.0
28年3月期第3四半期	10,923	△0.9	640	22.1	707	19.7	459	18.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,396百万円 (189.3%) 28年3月期第3四半期 482百万円 (0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	78.71	—
28年3月期第3四半期	30.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,925	22,004	64.9
28年3月期	29,759	20,969	70.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 22,004百万円 28年3月期 20,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
29年3月期	—	12.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期中間配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭 (創立80周年記念)

平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 4円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,000	9.1	1,995	2.3	2,000	△1.7	1,550	16.5
								103.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,394,379 株	28年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	350,436 株	28年3月期	350,396 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	15,043,975 株	28年3月期3Q	15,044,297 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、企業の設備投資意欲も徐々に回復しつつあり、企業収益は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

海外におきましては、全体的には緩やかな回復傾向ではありましたが、米国での新政権の政策動向や英国のEU離脱による影響並びに中国及びアジア新興国経済の景気減速など、金融市場への先行き不安から、依然として不透明な一面も払拭できない状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、徹底した品質管理と確かな技術力で新たな提案や短納期への要望にお答えし、お客様に価値ある技術を創出すべく構造改革を推し進めてまいりました。

また、受注状況につきましては、二次電池向け電極塗工装置、電子部材等を中心に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,501百万円（前年同期比5.3%増）となり、利益面では営業利益は1,441百万円（前年同期比125.1%増）、経常利益1,487百万円（前年同期比110.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,184百万円（前年同期比158.0%増）となりました。

受注残高につきましては、18,089百万円（前期末比39.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置、光学機能性フィルム製造装置関連を中心に低調に推移いたしました。

その結果、売上高は4,784百万円（前年同期比23.5%減）となりました。また、セグメント利益は495百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

受注残高につきましては、10,329百万円（前期末比76.4%増）となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、真空薄膜装置及び成膜装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は5,681百万円（前年同期比48.5%増）となりました。また、セグメント利益は1,288百万円（前年同期比224.5%増）となりました。

受注残高につきましては、7,051百万円（前期末比5.3%増）となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造などを行っております。

売上高は1,035百万円（前年同期比22.9%増）となりました。また、セグメント利益は272百万円（前年同期比46.8%増）となりました。

受注残高につきましては、708百万円（前期末比57.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,998百万円増加し、27,358百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,146百万円、たな卸資産が3,832百万円それぞれ増加したこと、及び売上債権が1,754百万円減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ166百万円増加し、6,566百万円となりました。その主な要因は、投資その他の資産が257百万円増加したこと及び有形固定資産が90百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ3,075百万円増加し、10,720百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が2,699百万円、前受金が931百万円それぞれ増加したこと、及び未払法人税等が527百万円減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、1,199百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が69百万円増加したこと、及び役員退職慰労引当金が76百万円、退職給付に係る負債が25百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,034百万円増加し、22,004百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,184百万円計上したこと、配当金を361百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が188百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,759,315	11,905,953
受取手形及び売掛金	5,836,894	3,806,443
電子記録債権	—	275,994
有価証券	3,540,897	3,699,969
仕掛品	2,601,475	6,436,231
原材料及び貯蔵品	80,697	78,652
その他	543,039	1,156,934
貸倒引当金	△2,479	△1,579
流動資産合計	23,359,840	27,358,599
固定資産		
有形固定資産	3,310,542	3,219,958
無形固定資産	99,633	99,651
投資その他の資産		
投資有価証券	2,509,746	2,711,991
その他	479,920	535,170
投資その他の資産合計	2,989,667	3,247,161
固定資産合計	6,399,842	6,566,771
資産合計	29,759,683	33,925,370

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,031,139	5,000,338
電子記録債務	—	1,730,227
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	461,928	465,668
未払法人税等	673,629	146,151
前受金	1,483,869	2,415,063
賞与引当金	179,490	59,273
製品保証引当金	64,676	97,492
その他	750,777	656,784
流動負債合計	7,645,509	10,720,999
固定負債		
長期借入金	333,956	403,485
役員退職慰労引当金	160,390	83,688
退職給付に係る負債	625,959	600,889
資産除去債務	14,306	14,522
その他	10,058	97,291
固定負債合計	1,144,670	1,199,877
負債合計	8,790,180	11,920,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	18,147,415	18,970,444
自己株式	△407,599	△407,646
株主資本合計	20,927,360	21,750,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	317,337	505,946
退職給付に係る調整累計額	△275,194	△251,794
その他の包括利益累計額合計	42,142	254,151
純資産合計	20,969,502	22,004,494
負債純資産合計	29,759,683	33,925,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,923,443	11,501,385
売上原価	8,961,815	8,822,082
売上総利益	1,961,628	2,679,303
販売費及び一般管理費	1,321,028	1,237,426
営業利益	640,600	1,441,877
営業外収益		
受取利息	8,474	8,237
受取配当金	38,899	42,692
その他	33,280	24,404
営業外収益合計	80,653	75,334
営業外費用		
支払利息	8,493	6,054
売上割引	3,838	2,526
支払補償費	—	20,500
その他	1,834	729
営業外費用合計	14,165	29,810
経常利益	707,087	1,487,401
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,819
特別利益合計	—	7,819
税金等調整前四半期純利益	707,087	1,495,220
法人税、住民税及び事業税	206,737	227,056
法人税等調整額	41,331	84,080
法人税等合計	248,068	311,136
四半期純利益	459,019	1,184,084
親会社株主に帰属する四半期純利益	459,019	1,184,084

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	459,019	1,184,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,047	188,609
退職給付に係る調整額	△2,516	23,400
その他の包括利益合計	23,531	212,009
四半期包括利益	482,550	1,396,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,550	1,396,093
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,970,335	△24.6
化工機関連機器	4,165,437	+34.4
その他	686,309	+15.1
合計	8,822,082	△1.6

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	9,258,965	+52.6	10,329,421	+76.4
化工機関連機器	6,038,696	+40.8	7,051,218	+5.3
その他	1,293,799	+35.4	708,798	+57.3
合計	16,591,461	+46.7	18,089,437	+39.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	4,784,565	△23.5
化工機関連機器	5,681,158	+48.5
その他	1,035,661	+22.9
合計	11,501,385	+5.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。